

「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	青森県
取組市町村名	弘前市
取組の名称	第5回食育フェスティバルinヒロロスクエアへの協力
取組内容	<p>○内容 幼児から大人まですべての世代を対象に食育を啓発するため、ヒロロスクエア賑わい創出委員会が中心となり実施する「第5回食育フェスティバルinヒロロスクエア」に、弘前市食生活改善推進員会、NPO法人光の岬福祉研究会、NPO法人スポネット弘前、いがめんち食べるべ会、東北女子短期大学、弘前市及び教育委員会関係課がブースを出展しました。 各団体ごとに「食育」をテーマに独自で企画し、各ブースで展示やゲーム体験コーナー等を実施しました。</p> <p>○開催日時 平成28年6月19日(日)午前10時～午後1時30分</p> <p>○開催場所 ヒロロスクエア イベントブース</p> <p>○来場者数:約350人</p> <p>【参加団体と主な催し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弘前市食生活改善推進員会(試食、調理実演) ・いがめんち食べるべ会(試食、会員紹介) ・東北女子短期大学(食育劇) ・弘前市 <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援課(塗り絵、パズル等ゲーム) りんご課(りんごの食べ比べゲーム) 健康づくり推進課(血管老化測定等) 農業政策課(フードモデルの展示等) ・弘前市教育委員会 <ul style="list-style-type: none"> 学務健康課(だしに関するクイズ等) 東部・西部学校給食センター(学校給食の紹介等)

「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	青森県
取組市町村名	深浦町
取組の名称	『身近なもったいない』～給食の残量調査から～
取組内容	<p>○内容 昨年度に引き続き、学校の委員会活動の一環として、給食の残量調査を行いました。この調査では、児童たちに食べ物を大切にすることや自然の恵みに感謝する心を伝えたいとの思いから、残量調査終了後に、児童の前で残飯をゴミ箱に捨て、児童たちから「もったいない」という言葉を引きだしています。今回の調査結果は、調査を行うことを事前に告知していたこともあり、昨年度よりも残量が減る傾向にありました。</p> <p>○実施期間：平成28年6月6日～6月10日までの1週間</p> <p>○実施場所：修道小学校、深浦小学校</p> <p>○参加児童数：修道小学校保健委員会の児童 9名 深浦小学校健康委員会の児童 8名</p>
	

「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	青森県
取組市町村名	横浜町
取組の名称	小中学生への食育健康教育
取組内容	<p>○内容 小中学生を対象に、おやつを上手に選択し、量や内容に気をつけて食べることができるよう、おやつのお上手なとり方について指導しました。普段よく食べられているおやつを掲示して、エネルギー量を周知し、100kcal分のお菓子量や、お菓子1袋当たりの油脂量や砂糖量を実際に見せることで、おやつにはエネルギー以外にも、油脂や砂糖、塩分等も多く含まれることを説明しました。さらに、おつつのエネルギー量を消費するために必要な運動量も説明し、食や健康に関する意識の向上を図りました。</p> <p>○開催場所及び参加者数 横浜小学校 117名、横浜中学校119名</p> <p>○開催日時 平成28年6月14日(火) 横浜中学校2年生 平成28年6月23日(木) 横浜中学校3年生 平成28年6月27日(月) 横浜小学校 1、2、3、6年生 平成28年6月29日(水) 横浜小学校4、5年生 平成28年6月30日(木) 横浜中学校1年生 中学生は給食後に、小学生は給食前及び給食後に実施</p> <p>○説明した内容 ①食育月間や食育の日のPR ②横浜町食育標語コンクールの募集と説明 小中学生部門のテーマ「野菜をとろう」 ③おやつのお上手なとり方</p>
	
	従事者: 町栄養士, 臨時栄養士